

平成 28 年 8 月に道内で発生した PCB 使用安定器からの漏洩事故の概要

1 羽幌町中央公民館における漏洩事故

端 緒	平成 28 年 8 月 16 日（火）蛍光灯安定器から液漏れが発生
発生場所	羽幌町中央公民館 3 階会議室
人への影響	発生時に会議室を使用していた住民 5 名に、PCB が付着することはなく、また、PCB の回収にあたった職員にも健康影響は認められなかった（8 月 23 日、24 日に医療機関で皮膚の診察、尿検査を受診）。
漏洩した安定器	メーカーへの確認により 8 月 17 日に PCB の含有が判明。
漏洩後の対応	PCB 含有蛍光灯安定器（漏洩 1 個、漏洩無し 4 個）及び PCB 付着物は、機械室内で、ペール缶 4 缶に分けて保管
他の安定器の確認	町では、管理する全ての施設について調査を行い、この公民館で新たに 4 台の PCB 使用安定器を確認
PCB 使用安定器が残存していた理由	平成 12 年度に実施した PCB 含有電気機器の調査をもって、全ての PCB 使用安定器等は回収されたことと処理しており、その後の再調査は不要と判断し実施していなかった。（当時の調査書類関係について、既に廃棄処分されており詳細は不明）。

2 帯広建設管理部足寄出張所における漏洩事故

端 緒	平成 28 年 8 月 24 日（水）蛍光灯安定器から液漏れが発生
発生場所	帯広建設管理部足寄出張所執務室
人への影響	職員 1 名に PCB が滴下したものの、直接皮膚への接触はなく、健康影響は認められなかった。
漏洩した安定器	メーカーへの確認により 8 月 24 日に PCB の含有が判明。
漏洩後の対応	PCB 使用安定器を速やかに交換するとともに、汚染物及び取り外した機器をビニール袋に入れドラム缶により保管
他の安定器の確認	十勝総合振興局は、所管する全ての施設を一斉に点検し、この出張所で新たに、12 台の PCB 使用安定器が確認
PCB 使用安定器が残存していた理由	平成 12 年度に実施した PCB 含有電気機器の調査をもって、全ての PCB 使用安定器等は回収されたことと処理しており、過去からの引き継ぎ事項で PCB 使用安定器は無いとの引き継ぎを信用したため、再点検等を実施せず発見に到らなかった。